

区分・種別	県指定有形文化財（絵画）		
名称	けんぼんぼくがきしもんじゅず 絹本墨画騎獅文殊図 1幅		
所在地	大洲市中村（大洲市立博物館）		
所有者	大洲市	管理団体	
指定年月日	昭和40年4月2日		
解説	<p>この図は絹本墨画、縦62cm、横35cmである。画家は不明であるが、北条市の最明寺を開山した月庵宗光の「如意提得 獅子返擲 福智無窮 威徳有力 月庵宗光拜賛」という賛がある。うずくまった獅子の上に、両手で膝をかかえて坐す文殊の姿を描いたものである。</p> <p>宗光（1326～1389年）は京都大江氏の出身で、若くして臨済宗に入り京都、鎌倉で禅の研究を続け夢窓疎石などに学んだ。また、正平16（1361）年には北条の大蟲禅師にも師事し、のち朝廷から大祖禅師の称号を授けられた有名な高僧であった。</p> <p>この絵画は、高僧月庵宗光の賛があることからみて、南北朝の名のある画僧が描いたものと推定され、初期の水墨画として貴重な作例といえる。</p>		

